

平成26年秋 当院は生まれ変わります！

新病院への道 第3回

「新病院への道」を特集でお送りしています。新病院の概要や機能、建設状況を毎回お知らせしていきます。



平成25年12月9日
巨大なクレーンが設置され、1階の建設に着手しています

住 所：東京都板橋区高島平1-73-1 高 さ：38.61m(最高:47.01m)地上10階／地下1階
建築面積：1629.43㎡ 着 工：平成24年11月
延床面積：11646.37㎡ 竣 工：平成26年秋

新病院の特徴

第2弾

④ 内科診療の細分化・専門性強化

現在の一般内科全般の診療体制から、新病院では内科を細分化し、専門性の強化を図ります。

⑤ 人工透析室の拡充・合併症への対応強化

透析ベッドを現在の15床から25床へ増床し、透析患者さまの高齢化に伴う合併症への対応についても強化・充実を図ります。

⑥ リハビリテーションの強化・充実

運動器・脳血管疾患等・呼吸器リハビリテーションを実施します。摂食・嚥下訓練、言語聴覚療法等についても強化・充実を図ります。

外来受付時間

	受付時間	内 科	外 科	消化器科	整形外科	眼 科
午 前	9：00～12：30	○※1	○	○	○※2	○
午 後	14：00～17：00	○	○	○	○	○
夜 間	17：30～19：00	○	○	○	○	

	受付時間	耳鼻咽喉科	泌尿器科	小 児 科	皮 膚 科	脳神経外科
午 前	9：00～12：30	○※3	○	○		○※7
午 後	14：00～17：00	○※4	○※5	○		○※8
夜 間	17：30～19：00			○	○※6	

<備 考>

※ 1	水曜日の糖尿病専門外来の診察時間は9：30～12：30	※ 6	火曜日の診察は行っておりません。
※ 2	火曜日の午前の受付は11：30まで	※ 7	月（第4月曜日休診）・火（第4火曜日のみ診療）・水・金曜日のみ
※ 3	初診受付12：00まで	※ 8	月・金曜日のみ 月曜日の診察時間は14：30～17：00
※ 4	初診受付16：30まで	※	土曜日は午前中の外来のみ行っております。
※ 5	水曜日は手術予定次第で休診	※	時間変更や休診等がございますので、お電話でご確認のうえ、ご来院ください。

－ 病 院 理 念 － 心の通う、温もりのある医療

－ 基 本 方 針 －

- ・患者様に公平で安全かつ良質な医療を提供できるよう研修、研鑽します。
- ・医師による説明と患者様の意思を尊重し、選択に基づく納得のいく医療を推進します。
- ・地域の救急病院として、常に最善を尽くし適切な医療を提供します。

“さくらんぼ” 高島平中央総合病院
Vol.10 2013.12

発行／高島平中央総合病院 地域医療連携室
発行日／2013年12月
〒175-0082 東京都板橋区高島平1-69-8
医療法人社団 明芳会 高島平中央総合病院
TEL.03-3936-7451（代表）
<http://www.ims.gr.jp/takashimadaira-hosp/>



「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

看 護 部 長 ご 挨 拶

私が高島平中央総合病院に看護部長として赴任してから2回目の冬を迎えようとしています。西台の駅から病院まで、春は見ごたえのある桜並木に圧倒され、その後訪れる新緑の高島通りには夏の日差しを遮ってもらい、黄色に色づく銀杏並木と変わり、そして冬の訪れがやってくるという四季を感じながら毎日通勤をしています。その間に少しでもこの地域を知ってみようと散策し、緑が多いことに感動し、道に迷いながら道行く方に駅や病院までの案内をしていただいたこともありました。地域の方々の温かさを実感させていただき、高島平中央総合病院が皆さまから親しみをもっていただいていることも教えていただきました。



当院は2014年に230床の新病院へと生まれ変わります。現在の病院にもスタッフは愛着を持ち、工夫しながら、また苦勞もしながら、皆さまへ看護を提供させていただいています。外来をご利用いただいている患者様には狭い通路や診察室で大変ご迷惑をかけながらの診療を受けていただいています。いつもご協力をいただきありがとうございます。またご入院に至っては設備等が整っていないため制限をさせていただくこともあり、その中での治療・看護を受けていただく事に感謝しています。新しい病院ができることはとてもうれしく楽しみでもあります。病室の窓から見える工事風景も患者様と一緒にわくわくしながら見えています。

看護部では「笑顔と思いやりの看護を提供する」ことを理念とし、今できることを患者様のために精一杯させていただいています。「ここで治療を受けてよかった」「この病院に来てよかった」と皆さまから選んでいただき、その患者様を家族のように思って接することのできる看護師であり続けたいと考えています。「いつも笑顔で接してくれる看護師がいてくれたからよかった。安心した」と言っていただけよう日々の看護を行っていき「高中学よかった」「高中学よかった」と地域の皆様に言っていただけようこれからも努力していきたいと思います。

これからも高島平中央総合病院の看護部をどうぞよろしくお願い致します。

看護部長 佐川 奈見



ご存知ですか？



高額療養費限度額認定証について



ご存知でしょうか。限度額認定証。

限度額認定証をご提出いただくと、窓口負担が高額療養費の自己負担額で済むようになります。要するに、病院で支払うお会計が少なく抑えられる場合があるということです。平成24年4月から入院のみならず、外来も適用となりました。年齢によって手続きが不要の場合もありますので、ご確認ください。（なお保険料の滞納があると発行できません）

70歳未満の方 ☆必ず手続きが必要です。各保険者に確認してください。

対 象 者	自 己 負 担 限 度 額（月 額）	
上位所得者（A）	150,000円+（医療費-500,000円）×1%	
一 般（B）	80,100円+（医療費-267,000円）×1%	
低 所 得（C）	35,400円	

※ 所得に応じて（A）から（C）の適応が決まります。

70歳以上の方 ☆対象者のみ（低所得Ⅰ・Ⅱ対象の方のみ）手続きが必要です。

対 象 者	自 己 負 担 限 度 額（月 額）	外 来
上位所得者	80,100円+（医療費-267,000円）×1%	44,400円
一 般	44,400円	12,000円
低 所 得 2	24,600円	8,000円
低 所 得 1	15,000円	8,000円

※ 低所得の該当については、所得に応じて判断されるため、各保険者にご確認ください。（住民税非課税の方等が対象となります。）

低所得に該当しない方は、所得に応じて、上位所得者もしくは一般となるため、手続きの必要なく、医療費（自費分は除く）の窓口負担は自己負担限度額が上限となります。

どちらも各保険者にて発行して頂いた限度額認定証を病院窓口に出す必要があります。尚平成26年4月の診療報酬改定や、社会保障制度改革が行われることにより、今後この制度が変更となる場合がありますので、お気を付けください。

ご不明な点がございましたら、**各保険者まで**お問い合わせください。
（国民健康保険・後期高齢者健康保険であれば区役所、社会保険であれば各組合です。）

医療福祉相談室 柳澤

今年もご注意を！ インフルエンザの季節です

インフルエンザは、インフルエンザウィルスが原因で発症する急性の呼吸器感染症です。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの症状が出現し、鼻水や咳などの呼吸器症状が続いて出現するのが特徴です。インフルエンザは伝染性が非常に強く、症状が激しく重症化しやすいことから、普通のかぜとは区別すべき病気です。特に高齢者や乳幼児は重症化しやすいので注意が必要です。



空気が乾燥し、のどや鼻の粘膜の防御機能が低下する、11月下旬～12月上旬にインフルエンザのシーズンが始まり、1～3月にピークを迎えて、4～5月にかけて患者数が減少します。そして毎年人口の5～

10%（約600～1300万人）がインフルエンザにかかると想定されています。



感染経路としては、インフルエンザ患者の咳やくしゃみなどとともにインフルエンザウィルスが小さな飛沫（しぶき）

となって空気中に飛び散り、これを周りの人が吸い込むことや、インフルエンザウィルスがついた手で、目や口を触ることで感染します。飛沫はおよそ2m飛ぶとされています。

インフルエンザは感染しても、必ず発病するとは限りません。その人にインフルエンザウィルスに対する免疫力（抵抗力）があれば、感染しても発病しなかったり、軽い症状で済んだりすることがあります。

全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要がありますが、乳幼児では、肺炎やインフルエンザによる入



院のリスクが高くなる傾向にあります。さらに、主に幼児では脳症などの合併症の報告もあります。

またインフルエンザによる死亡者のうち圧倒的多数を占めるのは65歳以上の高齢者です。高齢者がイン

フルエンザにかかるると肺炎などの合併症を起こしやすいため、インフルエンザの流行や健康被害を抑える第一の方策はインフルエンザワクチンの接種による予防です。

インフルエンザワクチンの接種以外では、外出後の手洗いとうがい、人ごみを避ける、マスクの着用、加湿器等による湿度の調整（50～60%）などが有効な対策です。バランスの良い食事の摂取と十分な休養で、日ごろから体力や抵抗力を高めることも大切です。



「体がだるいけど、そういえばこの前近くに咳をしていた人がいたな。」「高熱が出て、体の節々が痛む。」というような症状がありましたら、当院の内科をご受診ください。その際はくれぐれもマスクの着用をお忘れにならぬようお願いいたします。